

令和7年度 藤の木エルモ 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・ 活動拠点については、拠点となる集会所の改修及び活動に必要な備品の購入等を行い、各事業を通じて、エルモの周知を図った。
・ 藤の木学区の地域関係者が、楽しさややりがいを感じながら、地域コミュニティを実現させるため、「ふれあい祭り」「とんど祭り」に取り組むなど、行事の充実を図ることができた。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	藤の木学区ふれあい祭り	(2) 事業中 (1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(3) 地域住民の交流促進に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月19日	
(2) 実施場所	藤の木南第一公園	
(3) 参加者数	1,200人	
(4) 主催団体	藤の木学区ふれあい祭り実行委員会、藤の木エルモ	
4 取組内容	・ 地元団体やゲストによるステージ発表 ・ 地元団体による物品や飲食物の販売 ・ 防災コーナーなど啓発ブースの設置	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。）	地域住民や子どもが交流する機会が減少しているため、全住民が参加できる祭りを開催し、コミュニティの活性化が図れるような事業を行う。 ステージ発表やバザーを行い、地元住民間の交流により、藤の木に住んでよかったと愛着を持ってもらう。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。）	藤の木における一大イベントであり、子どもが楽しめる地域行事として定着しており、また、高齢者の外出・交流機会ともなっている。多くの住民が参加することで、多世代交流や賑わいづくりにつながった。 実行委員会により運営を行い、準備段階から地域住民の協力を得て事業を進めており、地域の連携力の向上にもつながった。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	藤の木とんど祭り	(2) 事業中 (2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(1) 地域の伝統的な行事又は文化の継承に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和8年1月11日	
(2) 実施場所	藤の木ふれあいグラウンド	
(3) 参加者数	400人	
(4) 主催団体	藤の木学区体育協会、藤の木エルモ	
4 取組内容	・地域住民やボランティアによるとんどの設置 ・餅つきの実施 ・餅やぜんざい、豚汁などの配布 ・防災啓発コーナーの設置、消火訓練等の実施	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的（どうして実施するのか。実施する背景は何か。） 地域交流の機会を増やす。また、とんどは多世代交流や賑わいづくりの一翼を担う伝統的な風物詩であり、多くの住民に参加してもらい魅力を再確認してもらうことで、行事が受け継がれている藤の木の良さを実感してもらう。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果が見込まれるか。） 12歳を迎える地域の子供たちで点火式に参加してもらい、本行事の開催を通じて、多くの住民に地域への関心や愛着を持ってもらうことができた。 子どもをはじめ多くの住民に参加してもらうことができ、住民同士がボランティアを通じて、連携・協力することができた。 また、防災テントとぜんざいを新規行事に組み入れ、より多くの地域住民に参加してもらえるような広報を実施した。		

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容